



# CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

January 2014

## ご挨拶



一般社団法人  
日本インプラント臨床研究会  
会長  
井 汲 憲 治

### 40周年記念事業をみんなで成功させましょう

新年あけましておめでとうございます。

会員の先生におかれましては爽やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、インプラント治療を専門とする臨床家の集まりとして1974年に誕生した日本インプラント臨床研究会は、今年で設立40周年を迎えます。この大きな節目の年にあたり、本会は4月19日(土)・20日(日)に東京ミッドタウンにおきまして記念事業を挙行了いたします。

1日目の午前はJapanセッションとして会員による症例発表(全員発表と同じ形式です)をオープン形式で行います。発表予定となっている先生は日頃の臨床の成果をご披露ください。

午後にはAsiaセッションとして、第26回アジア口腔インプラント学会(深井眞樹学会長/若井広明大会長)が開催されます。外科・補綴・ティッシュマネージメントの3大分野におきまして、国内外からの多数の著名な演者をお招きしております。

2日目はWorldセッション(デンツプライ特別講演会)として、3年ぶりの来日となるDr. Salama(チームアトランタ)、Dr. Valentini(EAO会長)をはじめ4人の海外演者による講演を予定しております。併せて、DH. 安生朝子、DH. 加藤典による歯科衛生士セッションも予定しております。

このような特筆すべき規模と内容の記念事業を、本会が東京の最も華やいだ場所で開催できますことは、ひとえに本会会員がインプラント臨床の実力を持っていること、そして、この分野の多くの方々が認めているからだと考えております。

本会会員におかれましては全員参加を重ねてお願いいたします。そして、1人でも多くのご知り合いの先生、そして歯科衛生士・歯科技工士にこの素晴らしい学術大会をご紹介いただけますようお願い申し上げます。